

# 子育て支援メッセいしかわ 2023 — 親子で楽しんでもらえる時間を—

団体名 ● 子育て支援メッセ実行委員会（事務局：（公財）いしかわ結婚・子育て支援財団内）芥川ゼミナール  
代表者名 ● 芥川元喜（人間科学部こども学科・准教授）

## はじめに

芥川ゼミナール2年生と3年生が「子育て支援メッセいしかわ2023」（子育て支援メッセ実行委員会主催：11月19日（日））に参画をさせて頂いた。

「子育て支援メッセいしかわ」は5年続けて、5回目の参加をさせて頂いた。会場は、石川県産業展示館4号館で開催された。

## 1. 企画・準備段階の活動

ゼミ生は、実行委員会の担当者、村上さんと田上さん（公益財団法人いしかわ結婚・子育て支援財団）から直接、開催の趣旨説明をお聞きし、自分たちでどんなことができるかを考えるところから始まった。また、実行委員会の村上さん、田上さんから、やってみ

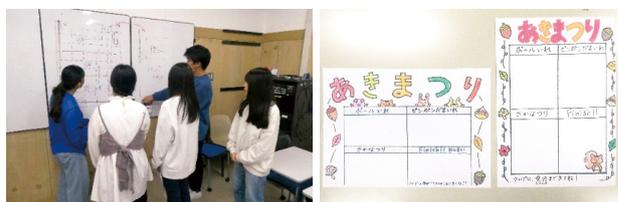


たいこと、自分たちのできることを自分たちでゼロから考えて、と、学生の主体性を尊重するように学生を導いてくださったおかげで、学生たちはとてもやる気になり、任された各ブースに強い責任感を持って取り組みを始めた。

### (1)「こども秋祭り」の企画(2年生)

2年生は、親子で楽しんでもらえる企画を考えようと話し合いを重ね、「こども秋祭り」ブースを企画、運営することにした。

「こども秋祭り」では、魚釣りゲームコーナー、ボール投げコーナー、ピンポン玉投げコーナーの3つのコーナーを全て手作りすることにした。実行委員会の村上さん、田上さんから助言を受けながら、子どもたちが喜ぶことはもちろん、親子で楽しめるコーナーにしようとゼミの時間以外にも集まり、制作活動を行った。また、全てのコーナーを巡ってもらう工夫として、スタンプラリー形式を学生のアイデアで導入し、スタンプカードの制作も行った。



### (2)「段ボール迷路」の企画(3年生)

3年生は「段ボール迷路」の運営を行うことになり、当日の運営方法や事前に準備するものなどを話し合った。実行委員会の村上さん、田上さんから直接助言を受けながら、迷路に参加する親子の安全を第一にした運営方法について話し合い、準備を進めた。

### (3)ゼミナール全員の力で連携して取り組む



当日は安全にコーナーを運営するために、芥川ゼミ4年生、6名も応援に加わり、こども秋祭り、段ボール迷路を運営することにした。その為に学生同士の事前の打ち合わせも入念に行った（写真：全員参加での打ち合わせの様子）。

## 2. 開催当日の活動

### (1)「こども秋祭り」の運営(2年生)

産業展示館4号館前には開場前から、多くの親子が行列をつくり、活気にあふれていた。

開場とともにコーナーに走ってきてくれた親子もいて、開場から間もなく、満員になった。どのコーナーも学生が手作りした遊びコーナーで、参加した子どもたちは楽しそうに遊ぶことができていた。一時は、ブースを取り囲む親子の行列ができていた。学生の想像を超える、多くの親子が参加をしてくだ



こども秋祭りでは、最後に受付で、スタンプラリーで全てスタンプが揃った子どもにはシールをプレゼントとした。子どもたちは皆、喜んでいて（写真）。

さったので、最初は臨機応変の対応に戸惑う学生もいたが、少しずつ場の雰囲気に慣れ、精一杯対応しようと皆、頑張っていて取り組んでいた。

## (2)「段ボール迷路」の運営(3年生)

6名の学生たちは受付、行列の整理、それぞれの担当場所で安全確認を行った。多くの御家族が参加して下さり、段ボール迷路を楽しんでくださっていた。迷路の中で迷子になる子の救出や、迷路の中で泣いてしまった子どもを抱きかかえて出してあげる等、臨機応変、子どもたちが安全に楽しめるように支援を行った。



## 3. 成果、結果の考察

メッセは、最終的には、約10,000人の入場者であった。こども秋祭り、段ボール迷路も学生の受付集計によると、それぞれ、約1,000人を超える入場者と

なった。学生は企画の話し合い、準備で多くの時間を費やした。しかし、その取り組んだ分、達成感、充実感があった。学生の感想には、会場で「楽しい企画だったよ。」「よく考えて作られているね。」と、参加して下さった保護者の方から直接、声を頂いたことが嬉しかった、とあった。

また、子どもたちが笑顔で楽しそうにしている姿がとても嬉しかった、とあった。こうした多くの親子との交流は学生にとってかけがえのない体験となった。子育て世代への想像力を働かせながら、自分たちに何ができるのかを考え、行動できたことは学生にとって確かな学びとなった。

最後に、活動には実行委員会の方々のお力を借りた。学生からの問い合わせ等にもすぐに対応して頂いた。こうした方々の温かい支えがあったことも学生たちの大きな励みとなった。感謝を申し上げたい。

